

日本酒、世界主要市場でPR本格化 欧州を中心に国際展示会・専門誌特集・マスタークラスを集中的に展開

全国約1,600の酒類メーカー（日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん）が加盟する、日本酒業界最大の団体である 日本酒造組合中央会（以下：中央会）では、2026年初頭より、欧州を中心とした海外主要市場において、日本酒の認知向上および需要拡大を目的としたPRイベント等を行っております。

近年、日本酒は高価格帯商品を中心に海外市場での評価を高めており、各国の流通関係者の関心は一層の高まりを見せています。こうした状況を背景に、中央会では酒類の世界規模イベントの最盛期である2月より、見本市出展、専門誌連動企画、プロフェッショナル向け教育プログラムなど、多面的な情報発信を行っております。

■ 主な海外PR事業（2026年初頭）

見本市／トレードショー

Wine Paris 2026（フランス・パリ）

開催期間：2026年2月9日～11日

フランスで開催される酒類総合見本市Wine Parisへ酒蔵が出展し、欧州の流通業者・飲食関係者に向けて日本酒の魅力を発信します。別途セミナーも実施。

ProWein 2026（ドイツ・デュッセルドルフ）

開催期間：2026年3月15日～17日

ドイツで開催される酒類総合見本市ProWeinへ酒蔵が出展し、欧州の流通業者・飲食関係者に向けて日本酒の魅力を発信します。別途セミナーも実施。

セミナー

ポルトガルでの専門誌特集およびマスタークラス（ポルトガル）

開催期間：2026年1月～3月

ポルトガルの酒類専門誌「O Escançao Magazine」にて日本酒特集記事を掲載するとともに、現地プロフェッショナル向けの日本酒マスタークラスを実施しています。

UK Sommelier Academy（イギリス）※会員向け 日本酒マスタークラス

開催日：2026年2月16日

英国のソムリエ教育機関の会員を対象に、日本酒の基礎から最新トレンドまでを紹介します。

商談会

日本酒試飲商談会およびペアリングディナー（チェコ・プラハ）

開催日：2026年3月12日

在チェコ日本国大使館およびJETROプラハ事務所との共催により、現地の流通業者・小売・飲食関係者を対象とした日本酒試飲商談会を実施。また、大使公邸において日本酒と料理のペアリングディナーを開催。

■今後について

中央会では、展示会や商談会に加え、各国のソムリエ協会や教育機関との連携を通じ、日本酒を「文化的価値を有する酒」として世界に発信する取り組みを強化しています。これらの海外PR事業を通じて、日本酒のブランド価値向上と海外市場での定着を図り、2月6日（金）に発表予定の日本酒輸出実績にも示されるような、持続的な輸出拡大を目指してまいります。

※参考

〈日本酒造組合中央会〉

東京都港区西新橋1-6-15 日本酒造虎ノ門ビル

全国約1,600社の酒類メーカー（日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん）が加盟する、日本酒業界最大の団体。酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、1953年に設立。「國酒（こくしゅ）」である日本酒、本格焼酎・泡盛等について魅力を広めることにより、世界の食文化の多様性に貢献し、国内外の需要拡大につなげる活動に取り組んでいます。

■公式HP:<https://japansake.or.jp/>

＜日本の酒情報館＞

東京都港区西新橋1-6-15 日本酒造虎ノ門ビル1F

常時100種類以上の日本酒、本格焼酎・泡盛等を、情報館ならではのリーズナブルな価格で楽しむことができ、いつも国内外からのお客さままでにぎわっています。また試飲だけでなく、日本酒にまつわる情報収集や、酒蔵見学などの相談もできるなど、“コンシェルジュ”としての役割も担っています。

■公式HP:<https://japansake.or.jp/JSScenter/>

【報道関係者からのお問い合わせ先】

【報道関係者の方へ】お問い合わせ先

TEI :03-6274-8386 MATI :japansake@honeycom.co.jp